

秘

学生部封鎖 解除の真相

—これが奥田東だ!—

社会学同京大支部

定価30円

資料工 かくのーとく大学当局は行動した。

これは、大田当局が学生部封鎖解除の後になり、自ら 14日(金)早朝 学生部封鎖の事態について、学生
の整理のために作ったものであるが、具体的な時間の推移
を知つておく上、便利なもので、最初に掲げておこう。

本学にあおける日取近の出来事

7月17日

14日(金) 18:15 学生団交(学生部前)

始まる(学生部を封鎖) 封鎖。8

19:40 休憩に入る(総長手前) 入る。

15日(水) 1:00 総長(学生団交)に出席 1日大協

16日(木) 1:00 学生団交(総長) 三項目 無

室 自前に学生部封鎖 事件調査

始まる 経理公開 封鎖計画

12:50 封鎖計画と関係

5:14 00 生との話し

5:23 30 部局委員会

5:23 30

封鎖計画

封鎖計画

総長 基幹大会話し合

封鎖計画 封鎖計画

の文書部所

11:00 教員多数が学生部前

に集り、総長教育学

部長封鎖解除呼びか

け

13:00 五者委員会において総

長メッセーを芦田

理學部長が読みあけ

る。

13:30 部局長工学部土木会

議室に集合ののち、

学生部前を封鎖支持

派と反対派との集会

の状況を見分け

15:20
19:40

部局長会議と学生部委
委員会との合同会議

18日(土) 10:00
12:40

部局長会議

12:45
13:15

「学生部封鎖」の
に因する「総長内閣」

明(陸計台前)

14:20
15:20

総長と五者連絡会議と
の因交始る(大ホール)

19日(日) 4:30
6:30

部局長会議のメンバー
若干名因交の席上へ

7:30
9:50

因交中絶

7:30
9:50

10:00

因交中絶

10:13:00

部局長会議(学生部
委員会との合同会議

学生部封鎖解
除のための
得方委等検討

20日(月) 12:50

総長ほか部局長若干
名が学生部前でトラ

ブルをおさえるため
に呼びかけ

15:13:30

部局長会議

総長が教官ととも
に学生部封鎖解
除の呼びかける文
案を検討

15:16:00

教官委員会(法廷才四
教室)

前記文案を説
明若干の
見交換

16:00

総長が教官多数と
もに学生部に行き、

学生部封鎖の解除を

呼びかける文書を讀

みあはる

教官集会を続行

2/18 50
2/17 40
2/16 00
2/15 10

部局長会議(学生部
委員会との合同会議
を含む)

前記文案をこま
らに検討
全決起集會
利決起集會
に對する処置

21日(火)

9:50

総長とともに教職員

、学生多数図書館

前に集合し、学生部

前にお出、封鎖學生

に對し解除の呼びか

けを行う。

漸次、各部長・総長

室に集まる。

12:00

學外者の立入りを禁

止し、名内を堅める

12:30

正内に他學の學生が

来る。

12:35

他學の學生の立入禁

止をマイクで呼びか

ける。

15:20

正内に他學の學生多

数に押し寄せる。

本部内に入れない

ので教養部の内附近

で座り込み、集会を

開く。

17:00

武装した學の學生

多数正内へ。混亂始

まる。

18:50

正内へ押し寄せた他

學の學生は、教養部

へ、あと、あけぬた

まで投機的に投石、

突入の試み、示もあ

続く。

22日(水) 0:20

部局長会議

部局長会議終了後

、総長各々をまわ

る。

事態に対する
今後の検討

109
1025

部局長会議(以下、事態の経過お

総長、学部長、教養、より検討

部長、研究所長をね

成、ただし、26日の

会議の場合を除く)

14
16:25 05

部局長会議(学生部 事態收拾の校

委員会との合同会議 討

を含む)

16
16:25 55

総長各々をまわる、

続いて学生部前を学

生部長とにこし、討

19:15

部局長会議

20:00頃学生部前に多数封鎖

解除をせまる動き始

まる

20:15

総長学生部前で、封

鎖学生に対して説得

(部局長会議中断)

21:35

総長、部局長その他

の教職員、学生多数

で説得にあたる

(部局長会議中断)

23日(木)

23:00 45 18

(部局長会議再開)

鎖解除を呼びかける

3:45 綴長・学生部前へ、封鎖

学生に対し退去を

呼びかけ

5:50 綴長・学生部長と

ともに学生部へ

10:30 学生部建物の封鎖を

解除される

11:30 部局長会議

12:10 順学生部長・法聖オ一

教室から退室できず

、綴長団交を要求さ

れる。

14:00 大学主催全学集会

15:05 綴長を先頭に学内示

モ

17:20 部局長会議
19:10

学生部封鎖解
除に伴う今後
の対応

司会：前田工
学部長

学内正堂化へ
の措置を策定

24日(金)

19:10 綴長・学生部前へ、封鎖
21:50 に出席

10:00

11:00 部局長会議
大学主催全学集会

12:11 00101000 部局長会議

13:13 1515

16:00 部局長会議(学生部
委員会との合同会議
を含む)

19:10 綴長・学生部前へ、封鎖
21:50 に出席

25日(土)

11:30 学部長会議

12:11 3030

13:40 大学主催全学集会

14:10 綴長・学生部前へ、封鎖
21:50 に出席

26日(日)

団交継続

27日(月)
29日(水) 3:50 5:15 10:30
休憩

休

11:40 綴長・学生部前へ、封鎖
21:50 に出席

8:00 5:10:25 部局長会議
(団交の二日間は
学部長出席)

11:40 綴長・学生部前へ、封鎖
21:50 に出席

11:40 綴長・学生部前へ、封鎖
21:50 に出席

11:40 綴長・学生部前へ、封鎖
21:50 に出席

11:40 綴長・学生部前へ、封鎖
21:50 に出席

司会：齋坂教
育学部長
友の内題等

後仕末問題

司会：齋坂教
育学部長

15:40

国交終了

綴り直し

資料(Ⅱ) 総長に現状及び今後の可能性を報告 (15日)

- (1) 学生の構成は、寮執行部及び各セクト連合であり、会見の場には約80名
その他、階上で約30名、階下の各室に約30名計160名ぐらいの模様。
- (2) 情勢は全て総長待ちであり、学生部長その他は学生にあまり問題にされて
いない。
- (3) 学生側の予想されるスケジュールは1月16日朝まで、総長会見をし、その
後会見の結果如何にかかわらず(?)封鎖に突入する可能性あり。
- (4) 但し、封鎖に入る前には総長並びに教職員は出てもらうとも云っている。
- (5) 斗争スローガンは①即時無条件新寮建設 ②聖理全面公開 ③その他
○長期計画白紙撤回 ○管規程他神大方式
但し学生は上記項目の即時実現をかならずしも予想してない。

資料(Ⅲ) 部局長会議 (年月日: 44年1月16日) 時間 17:~

(出) 総長 奥田 東

(出) 文学部長 井島 勉
代 評議員 長尾 雅人

(出) 教育学部長 鯨坂 二夫

(出) 法学部長 加ト 新平

(出) 経済学部長 堀江 栄一

(出) 理学部長 芦田 謙治

(出) 医学部長 岡本 耕造
代 教授 菅原 芳

(出) 薬学部長 掛見喜一郎

(出) 工学部長 前田 敏男
代 評議員 高村 仁一

(出) 農学部長 赤井 克己

(出) 教養部長 柳田 明

(出) 工学研究所長 榎本 義一
代 教研所長 福原 満男

(出) 食糧科学研究所長 秦忠男

(出) 経済研究所長 青山 秀男

陪席 浅野軍人局長 福田庶務課長

石川庶務部長 岡本学生部長

資料(Ⅳ) <最重要文書>

20日 部局長会議へ向けた奥田の草稿メモ

以上の声明を学生都建物の前で致したいと思います。

ガス、水道、電気、電話を断ち切れとの意見や要請がありますが、私としては、先づ報告を行って、それでも応じない場合に考えるべきことと思います。

なほ、明日午前9時50分、から学生、大学院生を含めて、再び建物を囲んで今日と同様のカン合をしようと考えておりますので、御協力をお願い致します。

なほ、21日～22日には封鎖が拡大する恐れがあります。これは何としても阻止しなければなりませんので、そのためには、本部建物の集囲を学生の協力も得て、取り囲んでもらいたいと思います。御協力下さい。時間等を追って知らせますのでその時直ちに結集できるように準備しておいて下さい。

(Ⅴ) 部局長会議へむけた奥田メモ

部局長会議

ここに本大情報を徹底してやる。

可能性

時間

外人部隊の退去命令と、侵入を命令する。

話し合い何の事

ノ一を口実にする。

水道 電気 取引

裏

先頭
電水
に立つ

資料<Ⅵ> 封鎖解除へのメモ(a)

退去。

外入禁止する

責任がある

① 東大-----東大----- 真同じ

② 当局の甘い態度

教官の前に立てば 暴力を振えない。

早く解決したい。

説得 くだぬる おどし=負けない。

断固とした態度 便ダ-----

学生部委員 退学学生処分

封鎖の処理

他の封鎖をどうするか

③ 今度の体制が何時まで続くのか。タイムリミット

説得 不利

20日 部局会議 説得 タイムリミット 25日

○ 時間を与える。エスカレートしない。

拒否しない。悪化しないようにする。

孤立してもやめない。

切る。助けない。説得も大である。

○ 直ちに切るべきであった。実現するものか。

外部からの導入防げない。

19日 情勢判断。説得、切る。

25日

自主的判断 皆様の意見を尊重する。切るかどうか。

ある意図を持っている。それが成功しないとあきらめてやる。

④ 取り引きは良いか悪いのか (一本にならずやらなければ)

本件説得の誤り

封鎖解除へのメモ(b)

両派の持論は極力受け付けられない。

教官に度々出て頂いてあり、情勢は流動的であり、ここに集まって頂くことこそ真意のあるのであり、今後もよろしくお願い致します。

教官の手で封鎖を解く――

何時までも退去しなければ カス、水道、電気、電話を遮断します。

タイムリミットを繰り上げる方向で 部局長は、学生部委員会を開いて検討する。
もし、くり上がった場合、説得の成功度及び……情勢の推移により、タイムリミットを延長する必要がある時は、改めて学生代表の意見を聞く。

封鎖解除宣言草稿 (2/4)

学生部の建物を封鎖している諸君、直ちに封鎖を解いて退去して下さい。

大学は理性の府であり、すべての大学人は自主的に行動すべきであると信じます。

無断で自主的に行動するといっても、何をしてもよいということではなく、大学という

共同体の一員として、大学の秩序を保つ責任のあることは申すまでもありません。

諸君が公共の建物を占拠し、大切な業を停止させるような行動は容認できません。

大学としては、この建物をこのまま放置することはできません。ある時限で何等か

の処置をすることを考えております。ここ数日來の在任の多数の大学人の態度によ

って来られて、諸君の行動が、批判され反対されていることを知ってまいりました。

封鎖に参加している諸君、諸君の自主的判断によって速やかに退去することを再び強

く要請します。われわれは、大学のあるべき姿について根本的に検討しようとしてい

ます。わが京都大学を愛する諸君が、学生部の封鎖をといふすべての大学人と共に

その実現に参加して下さい。くり返し、申し上げます。直ちに封鎖を解いて退去して

下さい。奥田果

資料Ⅶへ大学当局の^①秘文書

本部よりの伝達 S44年/月22日

一 今夜は警戒体制のまま適当に交代で仮眠して下さい。

二 各門の防備体制の補強に努めて下さい。

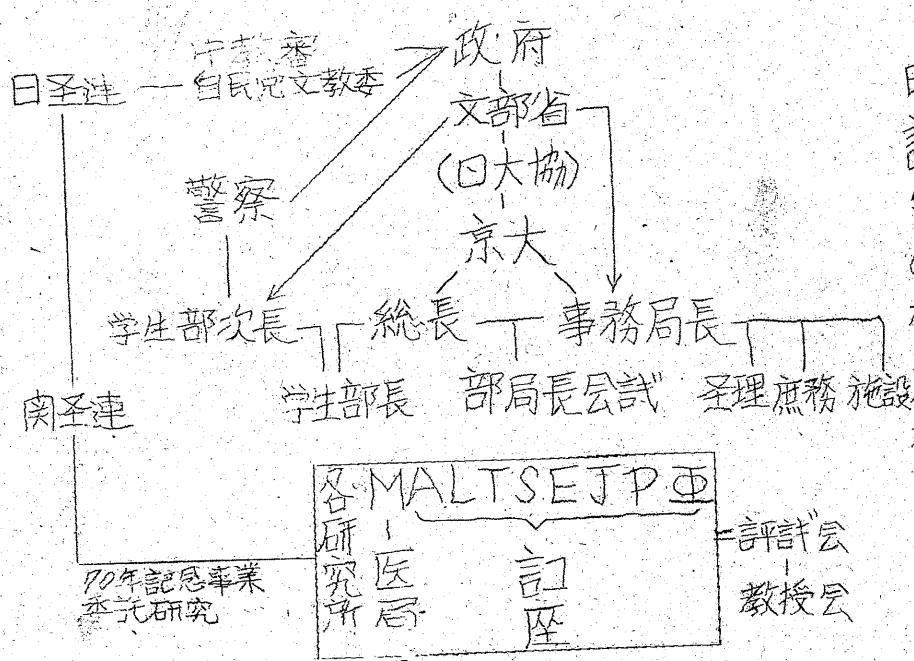
三 21日、道交法に基き警官を要請したが、この際一般学生の座込みによる公務執行妨害があったので、月後はこのような行為のないよう厳に注意を与えてほしい。もし、このような行為があれば公務執行妨害により検挙されることを衆知させてほしい。

四 22日も21日のように各門の警戒に当って下さい。

五 22日は、正門、北門、東門を完全に封鎖する。しかし通学、通勤のため百万辺門、西門のくぐり戸を開きます。

解説

時計台の権力構図図解



①この図の中で重要なものは、総長、事務局長、学生部次長である。

②事務局長は文部省から派遣され、財政・人事権を握っている。聖理、庶民、施設部長と共に部局長会に陪席し、総長のブレーンとなり、実質的な提案者、決定者、執行者となっている。そのことにより、国家権力、文部省の意志を貫徹している。

③学生部次長は事務局長同様、文部省から派遣され、公安機能を果している。現在の学生部次長は広島大学の学闘を争をつぶした功績を認められて榮転してきた人物である。

④部局長会計は形式的には、最高決定機関であるが、実質的には、堀江経済学部長との団交で明らかになされたように、総長の提案を単に諮問するだけで、一切の決定権は総長にあるのである。こうして日大協、自主規制路線が貫徹されるのである。

() 以上に見る通り、双録の鉄鎖は日大協、奥田、文部官僚の巣くう本部につながれているのである。本部の機能は封鎖へ、